

社長の
相談役

知財活用戦略コンサルティング

—守りと攻めの知財活用で市場開拓を推進する—

知財活用で会社を伸ばす方法は？

知財活用戦略は会社の命運を左右する。

今まで培ってきた知的財産（ノウハウ／特許／著作権／ブランド・・・）を大企業や競合からどのように守り、知財を「経営の武器（差別化）」として如何に使うかが会社経営の命運を左右します。

商標登録で自社ブランドを守る。

商標登録して「自社ブランド」を守ることはマーケティング戦略の重要事項です。広告宣伝や販売コストをかけてマーケットを開発することはブランドを育てることです。あとから参入してきた競合会社に似た様なブランドで商売されては、たまりません。

特許出願で自社技術を守る。

特許出願は「自社の技術」を知財資産（IP）として守る大変有効な手段です。大手企業や競合から技術／ノウハウを真似されないことで競争優位性を確保します。

知財戦略で製品サービスを優位にする。

商標登録や特許は自社製品・サービスを他社より優位に差別化し、競合に対する参入障壁を築きます。なお、商標出願中、特許出願中の状態であっても様々な効果があります。

会社の価値を上げる。

自社で今まで培ってきた「技術／ノウハウ」を知財資産（IP）として権利化することで会社の価値を見える化できます。市場（顧客）／金融機関／投資家／取引先等から見て企業価値が上がり、社員の士気も上がり、組織に良い効果をもたらします。

このように知財活用戦略は自社を守る手段だけでなく、企業価値を高め、市場開拓を推進する手段としてとても有効なのです。

（お問合せ先）

神楽坂コンサルティング株式会社

チーム神楽坂 松下恵三 担当

Tel: 03-4570-0655

ホームページ: www.kuruzo.com

Email: support@kagurazaka-consulting.com

住所: 東京都千代田区内神田1-18-11-1014



知財活用戦略コンサルティングの内容

特許出願や商標登録は事業展開の一環です。よって、知財活用戦略はマーケティング戦略と関連して考えることになります。特許を取得してもビジネスにならないければ意味はないからです。

1. コンサルティング内容

知財活用戦略コンサルティングは、会社の状況に合わせた以下のような内容になります。

- 商品・サービスのブランディング
- 既存技術・製品・サービスの知財戦略
- 新商品サービス企画開発段階での知財戦略
- ビジネスモデル構築に於ける知財活用戦略
- 知的資産の棚卸と知財活用戦略等



2. コンサルティング対象企業

- ✓ 商品／サービスブランドを守りたい会社
- ✓ 技術や製品を知財として守りたい会社
- ✓ 新製品を企画開発している会社
- ✓ ビジネスモデル構築を考えている会社

3. コンサルティングの基本条件

- ①初回ヒアリング：無料（場所により有料）
- ②条件：詳細は打ち合わせによる。以下余白